

グラント手続きの連邦内統一に向けた動き (6月23日)

大統領府行政管理予算局 (Office of Management and Budget: OMB) のダニー・ワーフェル監査総監 (Danny Wefel) は、23日に行われた下院公聴会において、グラント手続きを連邦政府内で統一化させ、グラント申請書類準備において統一された基準や標準があると望ましいと発言した。連邦グラントに対する拠出はこの20年間で年間1,350億ドルから6,080億ドルに伸びており、2010年度には連邦政府内で1,670のグラントプログラムが23の省庁より提供されている。この多くが教育省、厚生省、運輸省によるものとなっている。また、同じ公聴会において、米国会計検査院 (Government Accountability Office: GAO) の財務管理アナリストは、連邦の監視プロセスは不適切で、多くの省庁でコストベネフィット分析が行われておらず、OMBからの指導も多くがタイムリーではないと現状を批判している。

Government Executive, *Federal grant-making procedures could be consolidated, controller says*

<http://www.govexec.com/dailyfed/0611/062311cc1.htm>